

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年3月18日（水）

2 確認箇所

伐採木一時保管エリアH（図1）

3 確認項目

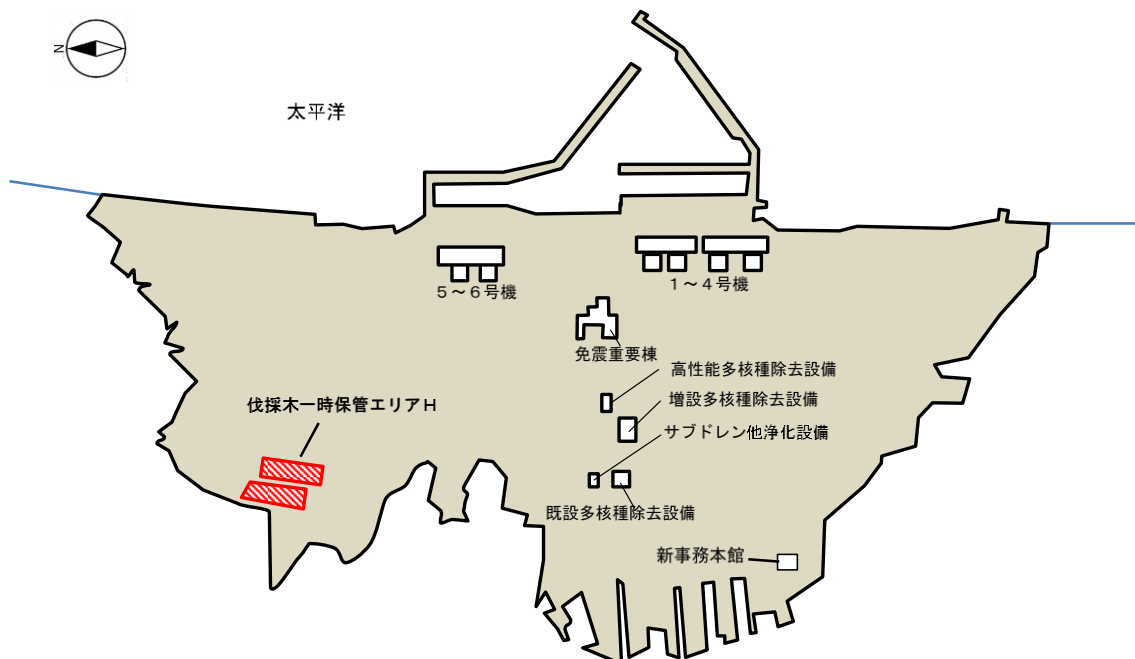
伐採木一時保管エリアHの現況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所事故後に構内の敷地造成等により発生した伐採木は、構内の伐採木一時保管エリア（以下「エリア」と言う。）で一時保管されている。増設雑固体廃棄物焼却設備の設置以降は、焼却のため破碎処理が進められていることから、エリアHの状況について確認した。

（前回確認：令和6年2月27日）

- ・ 確認時、エリアHの西側で伐採木のトラックへの積込作業が行われていた。（写真1）
- ・ 当該エリアの線量測定及び保管状況の定期パトロールが実施されていた。（写真2）
- ・ 火災対策のための消火用タンク及び消火器等が配備されていた。（写真3）
- ・ 確認した範囲内では、伐採木のエリア外への飛散・流出はなかった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 ①) エリアH東側の状況



(写真 1 ②) エリアH東側の状況



(写真 1 ③) エリアH西側の状況



(写真 1 ④) エリアH東側の状況



(写真 2 ①) パトロールの状況



(写真 2 ①) 線量率測定の状況



(写真 3 ①) 消火用タンクの設置状況



(写真 3 ①) 消火器の設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。